

## 民生病院常任委員会審査概要報告書

委員長 山口 泰祐

- I 開催年月日 令和 5 年 3 月 20 日 (月)
- II 会議時間 午前 10 時 00 分～午前 11 時 59 分
- III 出席委員等 [出席委員] ◎山口 泰祐 ○高岡 宏和 梅島 清香  
中川加津代 坂林 永喜 上田 武  
曾田 康司 狩野 安郎  
(◎…委員長 ○…副委員長)
- [議長] ※坂林 永喜 議長は委員として出席
- [副議長] 酒井 善広
- [説明員] 別紙名簿のとおり
- [委員外議員] 山上 尊士
- [事務局職員] 西本 幸夫 高嶋 史恵 吉本 昌史
- [傍聴者] なし

### IV 審査の概要

#### 1 付託議案について

- 議案第 1 号 令和 5 年度高岡市一般会計予算のうち本委員会所管分
- 議案第 2 号 令和 5 年度高岡市国民健康保険事業会計予算
- 議案第 5 号 令和 5 年度高岡市介護保険事業会計予算
- 議案第 6 号 令和 5 年度高岡市後期高齢者医療事業会計予算
- 議案第 7 号 令和 5 年度高岡市高岡市民病院事業会計予算
- 議案第 12 号 高岡市子ども・子育て会議条例等の一部を改正する条例  
「高岡市子ども・子育て会議条例の一部改正」  
「高岡市認定こども園条例の一部改正」  
「高岡市きずな子ども発達支援センター条例の一部改正」
- 議案第 13 号 高岡市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第 14 号 高岡市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第 15 号 高岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- 議案第 16 号 高岡市国民健康保険条例の一部を改正する条例

- 議案第 17 号 高岡市介護保険条例の一部を改正する条例  
議案第 18 号 高岡市こども医療費助成条例の一部を改正する条例  
議案第 20 号 高岡市立博物館条例等の一部を改正する条例

「高岡市立博物館条例の一部改正」  
「高岡市福岡歴史民俗資料館条例の一部改正」  
「高岡市万葉歴史館条例の一部改正」  
「高岡市美術館条例の一部改正」  
「ミュゼふくおかカメラ館条例の一部改正」

- 議案第 25 号 令和 4 年度高岡市一般会計補正予算（第 8 号）のうち本委員会所管分  
議案第 26 号 令和 4 年度高岡市国民健康保険事業会計補正予算（第 2 号）  
議案第 27 号 令和 4 年度高岡市介護保険事業会計補正予算（第 3 号）  
議案第 28 号 令和 4 年度高岡市後期高齢者医療事業会計補正予算（第 2 号）

及び

- 議案第 29 号 令和 4 年度高岡市高岡市民病院事業会計補正予算（第 3 号）

以上、当初予算議案 5 件、条例議案 8 件及び追加提出された補正予算議案 5 件の計 18 件については、審査の結果、全会一致で、いずれも原案のとおり可決すべきものと決した。

〈 審査の過程における質疑等は次のとおり。 〉

（以下、質疑・質問内容は ○ 、答弁内容は △ で表示）

**【議案第 1 号のうち、継続費の保育所整備事業費補助金について】**

- 大局的・長期的に見て、小・中学校と同様に保育園等も統合に向けた動きがある中で、整備の在り方は。また、どのような基準で進めていくのか。
- △ 保育園等については、公共施設再編の観点で、令和 5 年度以降に施設の在り方についての計画を作成することを考えている。その際には、今後の児童数の推移やニーズをしっかりと検証する。保育園等も徐々に老朽化し、改修・改築も必要となっていく中で、どのような形が望ましいのかを計画に定めるための作業に取りかかりたいと思っているところであり、現時点では特に基準等はない状況である。
- これから計画の作成を進めるとのことだが、歳入においては、0 歳児から 2 歳児までの園児の増加が要因となり、保育所運営費負担金が増額となっている。小さな園児が増えることで、保育園等のスペースの確保について課題が生じるのでは。
- △ 各保育園では、年度ごとの入所者数の内訳を見ながら、クラスの配置や面積を考えている。クラスが足りなくなったり、入所者数の増加が見込まれたりする場合には、今回のように施設整備をして確保するなどの対応をとっている。なるべく 0 歳児から 2 歳児までの受け入れについて対応できるようにしていきたい。
- 施設管理は大変悩ましい。子どもの数が減少している状況でも、低年齢層の保育の需要は増えている。環境整備について、長期的なスパン・視点で取り組んでいた

だきたい。(要望)

【議案第1号のうち、がん検診事業費について】

- がん患者アピアランスケア助成事業として、がん患者への補正具購入費用助成を行うとのことだが、具体的な金額は。
- △ ウィッグ等や乳房補正具に係る購入費用の2分の1を助成するもので、助成の上限額はウィッグ等が3万円、乳房補正具が片方の乳房につき2万円である。
- 対象の方々に非常に喜ばれる助成だと思うので、ぜひ、周知をお願いしたい。(要望)

【議案第1号のうち、母子保健対策費について】

- 国において低所得世帯の妊婦を対象とする補助制度が創設され、4月から初回の産科受診料に対する助成が受けられるようになると聞いているが、本市での実施予定は。
- △ この制度は、4月に発足する「こども家庭庁」の令和5年度予算案に上がっている補助事業であり、市町村を実施主体としている。低所得世帯の妊娠・出産に係る経済的負担を軽減し、支援を必要とする妊婦を早い段階で把握して継続的な支援につなげることを目的にしたものと認識している。妊娠した可能性があっても経済的な理由で医療機関を受診しないケースもあると思われ、そのような方々に早く医療機関を受診してもらい、次の支援につなげる制度である。誰一人取り残さないという観点からも、非常に重要で意義があると考えている。本市では、令和5年度当初予算で事業費を計上しており、しっかりと支援を行っていききたい。
- 低所得世帯に対する支援を積極的に実施いただけるようで、喜ばしいことだと思っている。この事業を利用いただいて初めて効果が出ると思うが、PRについてはどのように取り組むのか。
- △ 本市ホームページへの掲載や産婦人科医療機関でのポスター掲示を考えている。また、妊娠検査薬を購入される方々もおられると思われることから、薬局でのポスター掲示も考えている。
- どれほどの補助があり、その結果としてどれほどの負担軽減につながるのか。
- △ この事業の対象者は、産婦人科医療機関を受診された方で、かつ住民税非課税または同等の所得水準である世帯の方である。助成額については上限1万円であり、初回の受診料は概ね無料になる見込みと聞いている。

【議案第1号のうち、埋立処分場管理事業費について】

- 事業費が増額となっている理由は。
- △ 増額の内訳としては、業務委託料が570万円強、調査費用が880万円、修繕費用が720万円となっている。現在の業務をしっかりと行っていくための修繕費用を見込んだことや、今後に向けた調査を実施することに加え、人件費等のランニングコストが上昇したことによるものである。これまでと同様に、現在の長期委託契約の中で事業を進めていく。

- 地元への説明会の実施状況は。
- △ 毎年、地元との協議を実施しており、令和4年度も3回にわたって関係自治会の方々と協議をした。現時点では協議を進める上で混乱は生じておらず、事業の準備を粛々と進めている。
- 委託業者と、ごみを納入する業者は、同一か。
- △ 埋立処分場では、エコクリーンセンターから出る灰や、市民の方々が持参される側溝の汚泥、ガラス製品等を埋め立てている。特定の業者がごみを受け付けたり納入したりしているわけではなく、様々な方が来られている。委託業者以外もごみを持ち込んでいる状況であるが、特段これまでに問題が生じたことはない。
- これまで不法な投棄や持ち込みはなかったようなので、引き続きしっかりと業務にあたってほしい。(要望)

**【議案第7号のうち、主要な建設改良事業について】**

- 電子カルテの更新が2年目に入るが、進捗状況は。
- △ 2年間の継続事業で実施している電子カルテの更新は、令和5年12月の完了を予定して進めている。現在は設計段階である。
- 電子カルテの更新が進む一方で、地域医療構想の進捗状況は。
- △ 地域医療構想は県が策定しており、令和7年度の病床数等について記載したものである。その内容については関係者で構成する調整会議で議論することとなっているが、しばらくの間、新型コロナウイルス感染症の影響で調整会議が開催されていなかった。令和4年には再開となり、これまでに2回開催されたところである。引き続き、調整会議の中で構想が進んでいくものと認識している。
- 在宅介護やかかりつけ医が広まりつつあるが、データがなく思うように患者を診られない現状もある。将来的には電子カルテが広く共有され、地域の身近な場所で医療が受けられる体制づくりに積極的に取り組んでいただきたい。(要望)

**【議案第25号のうち、障害者更生医療給付費について】**

- 1,300万円強の増額となっているが、どのような助成を行っているのか。
- △ 身体障がい者の方が、自立した日常生活や社会生活を送るために、身体の機能障がいを軽減または改善するための医療に対して助成している。
- 人数が増加しているため増額となっているのか。
- △ 長期入院される方もおられることから、単価の上昇もあり、増額となった。どちらかといえば、人数よりも入院費用による単価増の影響である。
- 年々扶助費が増大している中で、障害者更生医療給付費の増額については将来的な不安要素となるのか。
- △ 扶助費は増えている。全体的に増えている状況であり、この費目により影響するとは捉えていない。

## 2 報告事項について

〈 当局から、次の報告・説明があった。 〉

[生活環境文化部]

- (1) 高岡市地球温暖化対策実行計画の策定について
- (2) 高岡斎場におけるP P A事業予定者の選定について
- (3) 市民ふれあい入浴事業の料金見直しについて

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

[福祉保健部]

- 小児（5歳～11歳）のオミクロン株対応ワクチンの接種について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

[消防本部]

- 令和5年春季火災予防運動の実施について

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

## 3 閉会中の継続審査について

本委員会の所管事項について、閉会中も継続して調査する必要があるため、会議規則第104条の規定により、委員長から議長に継続審査を申し出ることとした。

## 4 その他

次回の常任委員会の開催について

令和5年4月18日（火）午後1時に開催することが報告された。

〈 委員から質疑等はなかった。 〉

〈 当局からの報告はなかった。 〉

〈 以上で委員会を閉じた。 〉

民生病院常任委員会 当局説明員（28名）

生活環境文化部長	二塚 英克	市民病院長	藪下 和久
生活環境文化部次長	須田 稔彦	市民病院事務局長	柴田 文夫
市民生活課長	松本 武司	総務課長	上森 智美
環境政策課長	室谷 智	医事課長	島田 輝
共創まちづくり課長	大野 洋靖		
共創まちづくり課 多文化共生室長	車 忠宏	消防長	浦島 章浩
男女平等・共同参画課長	寺口 昌代	消防本部次長	山口 喜代治
市民課長	徳市 直之	消防本部次長 総務課長	有澤 智文
文化振興課長	寺井 知恵	消防本部参事 予防課長	奈良岡 由多可
		警防課長	神谷 勝也
福祉保健部長	戸田 龍太郎	通信指令課長	礪波 鉄夫
福祉保健部次長	山本 真弘		
福祉保健部参事	長田 由美子		
社会福祉課長	中保 哲憲		
社会福祉課 福祉連携推進室長	大野 美喜子		
子ども・子育て課長 保育・幼稚園室長	野村 岳人		
高齢介護課長	関原 総臣		
保険年金課長	芹山 奈緒樹		
健康増進課長	赤阪 典子		